

Ⅱ 個別事業

第1 法人運営

1 組織運営

番号	事業名	財源			
(1)	評議員会	自主	補助	委託	事業
			市		

結果の概要

○法人の予算、決算、事業計画、事業報告及び業務又は財産の状況等に関する議決を行うために評議員会を年3回開催した。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	6月20日 201～203 会議室	議案第1号 令和6年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会資金収支補正予算（第1号） 議案第2号 令和5年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会事業報告 議案第3号 令和5年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会決算
第2回	12月19日 201～203 会議室	議案第4号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会第27期理事の選任 議案第5号 令和6年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会資金収支補正予算（第2号）
第3回	3月25日 201～203 会議室	議案第6号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会第27期理事の選任 議案第7号 令和6年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会資金収支補正予算（第3号） 議案第8号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会役員等の報酬に関する規則の一部改正 議案第9号 令和7年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会事業計画 議案第10号 令和7年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会資金収支予算

番号	事業名	財源			
(2)	評議員選任・解任委員会	自主	補助	委託	事業
			市		

結果の概要

○理事会から推薦された評議員候補者について、選任の決議を行った。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	6月5日 団体室	○第25期社会福祉法人調布市社会福祉協議会評議員の選任

第 2 回	9 月 18 日 団体室	○第 25 期社会福祉法人調布市社会福祉協議会評議員の選任
-------	-----------------	-------------------------------

番号	事業名	財源			
(3)	理事会	自主	補助	委託	事業
			市		

結果の概要

○法人内の業務の決定、予算、決算、事業計画、事業報告等の議決を行うために、理事会を年 4 回開催した。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第 1 回	6 月 5 日 202～203 会議室	議案第 1 号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会第 25 期評議員候補者の推薦 議案第 2 号 令和 6 年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会資金収支補正予算（第 1 号） 議案第 3 号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会職員就業規則の一部改正 議案第 4 号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会嘱託職員就業規則の一部改正 議案第 5 号 令和 5 年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会事業報告 議案第 6 号 令和 5 年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会決算 議案第 7 号 令和 6 年度役員賠償責任保険の加入について 議案第 8 号 令和 6 年度第 1 回社会福祉法人調布市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集 議案第 9 号 令和 6 年度第 1 回社会福祉法人調布市社会福祉協議会評議員会（定時評議員会）の招集
第 2 回	9 月 18 日 202～203 会議室	議案第 10 号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会第 25 期評議員候補者の推薦 議案第 11 号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会職員就業規則の一部改正 議案第 12 号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会職員の再雇用に関する規則の一部改正 議案第 13 号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会臨時職員就業規則の一部改正 議案第 14 号 令和 6 年度第 2 回社会福祉法人調布市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集
第 3 回	12 月 11 日 201～203 会議室	議案第 15 号 令和 6 年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会資金収支補正予算（第 2 号） 議案第 16 号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会職員給与規則の一部改正 議案第 17 号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会臨時職員就業規則

		の一部改正 議案第18号 令和6年度第2回社会福祉法人調布市社会福祉協議会 評議員会の招集
第4回	3月14日 202~203 会議室	議案第19号 令和6年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会資金収 支補正予算(第3号) 議案第20号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会役員等の報酬に関 する規則の一部改正 議案第21号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会職員就業規則の一 部改正 議案第22号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会職員給与規則の一 部改正 議案第23号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会嘱託職員就業規則 の一部改正 議案第24号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会臨時職員就業規則 の一部改正 議案第25号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会職員の育児・介護 休業等に関する規則の一部改正 議案第26号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会事務局組織規程の 一部改正 議案第27号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会評議員選任・解任 委員会運営規程の一部改正 議案第28号 令和7年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会事業計 画 議案第29号 令和7年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会資金収 支予算 議案第30号 令和6年度第3回社会福祉法人調布市社会福祉協議会 評議員会の招集

番号	事業名	財源			
(4)	三役会	自主	補助	委託	事業
			市		

結果の概要

○理事会、評議員会開催へ向けての調整など、法人内の業務や、人事の調整等を行うために三役会を年4回開催した。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	5月30日 団体室	○第1回理事会への提出案件等
第2回	9月5日 団体室	○第2回理事会への提出案件等

第3回	12月5日 団体室	○第3回理事会への提出案件等
第4回	3月6日 団体室	○第4回理事会への提出案件等

番号	事業名	財源			
(5)	監査会	自主	補助	委託	事業
		市			

結果の概要

○理事の業務執行の状況、事業の執行状況及び財産の状況を監査するため、令和5年度決算監査と令和6年度上半期監査を開催した。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	5月23日 202・203会議室	○前回（令和5年度上半期）監査講評における留意事項について（報告） ○令和5年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会決算（事業・経理）説明 ○監査実施 ○監事からの講評
第2回	11月19日 202・203会議室	○前回（令和5年度決算監査）監査講評における留意事項について（報告） ○令和6年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会上半期監査（事業・経理）説明 ○監査実施 ○監事からの講評

番号	事業名	財源			
(6)	第三者委員会議	自主	補助	委託	事業
		基			

結果の概要

○苦情・要望の受付及び対応について報告し、解決の過程及び改善策について第三者委員よりアドバイスをいただいた。また、事故について報告した。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	9月13日 団体室	○苦情・要望の受付、事故の報告 令和6年3月～令和6年8月分 出席委員3人
第2回	3月11日 団体室	○苦情・要望の受付、事故の報告 令和6年9月～令和7年2月分 出席委員3人

番号	事業名	財源			
(7)	表彰審査委員会	自主	補助	委託	事業
		基			

結果の概要

○永年にわたって地域福祉活動やボランティア活動に参加・協力いただいた市民や団体並びに福祉事業に対する高額寄付者などを対象に、表彰基準に照らし合わせ顕彰者を決定した。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	8月5日 団体室	○表彰状対象者（団体）の審査・選出 ○感謝状対象者（団体）の審査・選出

分析・課題

○市民による推薦は1件あり、審査の結果受賞対象となった。今後も地域で活動されている方を推薦していただけるよう、市報・ふくしの窓・ホームページ等を活用し広く広報を行う。

番号	事業名	財源			
(8)	社協経営会議	自主	補助	委託	事業
			市		

結果の概要

○会長、常務理事、管理職を構成メンバーとし、社協が抱える問題や緊急課題に対応するため毎月1回を基本に開催した。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	4月8日 団体室	○決算理事会・定時評議員会案件等 ○法人内の連携強化について ○第6次地域福祉活動計画推進及び小地域交流事業の体制について
第2回	5月7日 団体室	○決算理事会・定時評議員会案件等 ○法人内の連携強化のあり方検討の進捗 ○令和6年度人事考課制度の実施について
第3回	6月3日 団体室	○決算理事会・定時評議員会案件等 ○カスタマーハラスメント対応方針案について ○虐待防止委員会
第4回	7月1日 団体室	○9月理事会案件等 ○法人内の体制について
第5回	8月5日 団体室	○9月理事会案件等 ○情報公開請求事案の発生について
第6回	9月2日 団体室	○9月理事会案件等 ○調布市への令和7年度予算要求について ○台風対応の振り返りと今後の対策について

		○虐待防止委員会
第7回	10月7日 団体室	○12月理事会・評議員会案件等 ○失語症者向け意思疎通支援事業について ○要綱に基づく苦情申し立て事案について
第8回	11月5日 団体室	○12月理事会・評議員会案件等 ○居住支援特別手当の方向性について ○苦情事案の進捗について ○他団体からの協力について
第9回	12月2日 団体室	○12月理事会・評議員会案件等 ○パートタイム・有期雇用労働法に基づく報告の徴収の報告 ○指導監査実施に伴う準備協力について ○苦情事案の進捗について ○虐待防止委員会
第10回	1月6日 団体室	○3月理事会・評議員会案件等 ○令和7年度予算要求状況について ○社会福祉法人指導監査の結果について ○居住支援特別手当に関する進捗と調布市の対応について
第11回	2月3日 団体室	○3月理事会・評議員会案件等 ○令和7年度からの組織編成について ○理事・監事・評議員候補者の人選について
第12回	3月3日 団体室	○3月理事会・評議員会案件等 ○令和7年度の組織改編に伴う部署名について ○虐待防止委員会

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(9)	社協管理職会議				

結果の概要

○管理職を構成メンバーとし、社協の課題を共有し課を超えて連携をはかるために毎月1回を基本に開催した。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	4月23日 団体室	○決算理事会・定時評議員会案件等 ○緊急の安否確認における対応について ○組織改編の検討について ○令和6年度人事考課制度の実施について ○職員の勤怠について ○事業効率化・今後の各種検討に向けた計画について ○各課の主な事業
第2回	5月28日 団体室	○決算理事会・定時評議員会案件等 ○カスタマーハラスメント対応方針案について

		○令和6年度人事考課制度の実施について ○新しい総合福祉センター整備の進捗 ○各課の主な事業
第3回	6月25日 団体室	○9月理事会案件等 ○キャッシュレス化の導入について ○令和6年度現任考課者研修の実施について ○各部署間の連携について ○病休職員復帰に向けての検討 ○各課の主な事業
第4回	7月23日 団体室	○9月理事会案件等 ○新たな総合福祉センターの整備進捗について ○各課の主な事業
第5回	8月27日 団体室	○9月理事会案件等 ○台風対応の振り返りと今後の対策について ○調布市への令和7年度予算要求について ○代休の導入と「勤務時間及び休暇」の規定変更について ○各課の主な事業
第6回	9月24日 団体室	○12月理事会・評議員会案件等 ○病気休暇からの復帰プログラムの進捗と体制について ○調布市への令和7年度予算要求について ○調布市民ゴルフ大会チャリティーゴルフ大会について ○各課の主な事業
第7回	10月22日 団体室	○12月理事会・評議員会案件等 ○苦情申し立て事案の進捗 ○地域相談事業の今後の方向性について ○新たな社会資源の創出に活用できる予算（自主財源）の確保について ○携帯電話当番業務の見直しについて ○感染対策委員会の設置義務について ○居住支援特別手当の方向性について ○各課の主な事業
第8回	11月26日 団体室	○12月理事会・評議員会案検討 ○正規・非正規職員の職責等に関する聞き取り（パートタイム・有期雇用労働法に基づく報告の徴収への対応） ○地域相談事業の今後の方向性について ○居住支援特別手当に関する進捗と調布市の方向性について ○個人情報保護に関する法人の対応 ○「社会福祉協議会基本要項2025第2次案」に係る意見集約 ○各課の主な事業
第9回	12月24日 団体室	○3月理事会・評議員会案件等 ○令和7年度調布市予算内示への対応について ○社会福祉法人指導監査の結果について ○居住支援特別手当に関する進捗と調布市の対応について

		○各課の主な事業
第10回	1月28日 団体室	○3月理事会・評議員会案件等 ○令和7年度からの組織編成について ○理事・監事・評議員候補者の人選について ○令和7年度に向けての労務関係ルールの整理について ○緊急携帯当番業務見直しについて ○各拠点の防犯対策・不審者対応について ○各課の主な事業
第11回	2月25日 団体室	○3月理事会・評議員会案件等 ○令和7年度からの組織編成についての進捗 ○人事異動の考え方の検討 ○料金受取人払の返信用封筒について ○令和7年度小地域交流事業の位置づけについて ○各課の主な事業
第12回	3月26日 団体室	○6月理事会・定時評議員会案件等 ○令和7年度の全体事業について ○各課の主な事業

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(10)	社協運営会議				

結果の概要

- 組織運営、事業運営等をスムーズに運ぶために、管理職及び係長職（相当職を含む）を構成メンバーとし、法人全体として経営会議、管理職会議の報告と各係からの報告と提案を行なうために、毎月1回開催した。
- 危機管理委員会としても位置付け、苦情、要望、事故、ヒヤリ・ハット事例の共有を図った。
- 人事考課制度の現任考課者研修会を運営会議内で実施し、良かったことや難しいこと、より良いものにしていくためにアイデアの共有を図った。
- 令和6年度もZoomを活用し、移動時間を要することなく参加が可能となり効率化を図った。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	4月9日 視聴覚室・Zoom	○令和6年度小地域交流事業について ○令和6年度全体事業の職員配置について ○危機管理委員会
第2回	5月8日 視聴覚室・Zoom	○令和5年度決算監査について ○第6次調布市地域福祉活動計画完成披露会について ○危機管理委員会
第3回	6月4日 視聴覚室・Zoom	○新しい勤怠システムについて ○オンデマンド配信専門研修の上映会の開催について ○第6次調布市地域福祉活動計画完成披露会について ○危機管理委員会

第4回	7月2日 視聴覚室・Zoom	○キャッシュレス化の導入について ○新しい勤怠システムについて ○福祉まつりについて ○ソーシャルワーク実習について ○重層的支援体制整備事業について ○危機管理委員会
第5回	8月6日 視聴覚室・Zoom	○人事考課制度現任考課者研修会 ○危機管理委員会
第6回	9月3日 視聴覚室・Zoom	○台風7号、10号への対応の振り返りと今後の対策について ○代休の導入と「勤務時間及び休暇」の規定変更について ○新しい勤怠システムについて ○危機管理委員会
第7回	10月8日 視聴覚室・Zoom	○令和7年度調布市への予算要求の進捗について ○パートタイム・有期雇用労働法に基づく報告の聴取について ○第47回調布市福祉まつりについて ○小島町コーナーが所有するWi-fiの管理について ○危機管理委員会
第8回	11月6日 視聴覚室・Zoom	○居住支援特別手当の方向性について ○感染対策委員会の設置義務化について ○新しい勤怠システムの承認者向け説明会 ○危機管理委員会
第9回	12月3日 視聴覚室・Zoom	○新しい勤怠システムについて ○福祉総務課による指導監査の実施について ○地域相談事業の今後の方向性について ○地域づくり勉強会について ○危機管理委員会
第10回	1月7日 視聴覚室・Zoom	○社会福祉法人指導監査の結果について ○居住支援特別手当に関する進捗と調布市の対応について ○危機管理委員会
第11回	2月6日 視聴覚室・Zoom	○ふれあい福祉相談の終了について ○地域づくりにおける社会資源創出に係る独自事業について ○令和7年度に向けての労務関係ルールの整理について ○緊急携帯電話当番の見直しについて ○危機管理委員会
第12回	3月4日 視聴覚室	○令和7年度の組織改編に伴う部署名について ○令和7年度小地域交流事業の位置づけについて ○危機管理委員会

番号	事業名	財源			
(11)	課内・係内会議	自主	補助	委託	事業

結果の概要

○各課・各係において会議を開催した。

番号	事業名	財源			
(12)	危機管理委員会	自主	補助	委託	事業

結果の概要

○運営会議において、危機管理委員会を設置し、苦情、要望、事故報告、ヒヤリ・ハット報告により共有を図り、事故の未然防止とサービスの安全と質の向上を図った（第1部のP11参照）。

番号	事業名	財源			
(13)	衛生委員会	自主	補助	委託	事業
			市		

結果の概要

- 衛生管理者、職員の代表者及び産業医が参画した衛生委員会を定期的に開催し、調布社協内各職場における安全・衛生について、協議、検討を行った。
- 法人全体のストレスチェック結果について、委員会で共有した。令和6年度からWEB上での受検に切り替えて受検したが、受検者数は微減となった。
- 職場巡視を実施することで、各拠点の環境状況の把握、整備が進んだ。
- 産業医から最新の感染症に関する情報提供を得て、法人内の感染症予防対策へ生かした。
- 保健師による食事と健康に関する研修、普通救命講習、自転車講習会を実施した。

実績等

回	開催日	会場	内 容
第1回	4月30日	総合福祉センター 2階 団体室	○令和6年度衛生委員自己紹介 ○衛生委員会の位置づけの確認 ○令和6年度活動計画について ○産業医からの情報提供 ○各職場の衛生課題について ○労働災害発生件数について
第2回	5月20日	総合福祉センター 2階 団体室	○産業医からの情報提供 ○各職場の衛生課題について ○労務上のヒヤリハットについて ○労働災害発生件数について
第3回	6月17日	総合福祉センター 2階 団体室	○産業医からの情報提供 ○各職場の衛生課題について ○令和6年度衛生委員会で取り上げたいことについて

			○保健師の研修内容について ○第1回職場巡視について ○職員定期健康診断について ○ストレスチェックについて ○労働災害発生件数について
第4回	7月19日	総合福祉センター 2階 団体室	○各職場の衛生課題について ○労務上のヒヤリハットについて ○救急用品について ○労働災害発生件数について
第1回 職場巡視	Aチーム 7月25日 Bチーム 7月30日 Cチーム 8月2日	Aチーム 富士見コーナー、調布市希望の家、希望の家深大寺 Bチーム 調布市希望の家(分場)、緑ヶ丘コーナー、菊野台コーナー、市民活動支援センター Cチーム 西部コーナー、染地コーナー、こころの健康支援センター	○衛生委員が実施 ○職場環境の確認、救急用品・AED、嘔吐物対応キットの点検、災害対策確認等
第5回	8月19日	総合福祉センター 2階 団体室	○第1回職場巡視報告 ○各職場の衛生課題について ○ストレスチェックの中間報告 ○労働災害発生件数について
第6回	9月17日	総合福祉センター 2階 団体室	○産業医からの情報提供 ○各職場の衛生課題について ○労務上のヒヤリハットについて ○労働災害発生件数について
第7回	10月21日	総合福祉センター 2階 団体室	○産業医からの情報提供 ○令和7年度のストレスチェックについて ○各職場の衛生課題について ○労働災害発生件数について
第8回	11月18日	総合福祉センター 2階 団体室	○ストレスチェックの全体結果について ○各職場の衛生課題について ○保健師による研修について ○交通安全講習(自転車講習会)について ○労働災害発生件数について
第9回	12月16日	総合福祉センター	○産業医からの情報提供

		2階 201 会議室	○各職場の衛生課題について ○労務上のヒヤリハットについて ○労働災害発生件数について
第10回	1月20日	総合福祉センター 2階 団体室	○第2回職場巡視について ○各職場の衛生課題について ○労働災害発生件数について
第11回	2月17日	総合福祉センター 2階 203 会議室	○産業医からの情報提供 ○各職場の衛生課題について ○労務上のヒヤリハットについて ○保健師研修報告 ○労働災害発生件数について
第2回 職場巡視	1月21日～ 3月12日	調布市希望の家 希望の家深大寺 市民活動支援センター 緑ヶ丘コーナー 菊野台コーナー 富士見コーナー 西部コーナー こころの健康支援センター 総合福祉センターB1 ～6階	○各職場の自己チェックとして実施 ○職場環境の確認、救急用品・AED、嘔吐物対応キットの点検、災害対策確認等
第12回	3月17日	総合福祉センター 2階 201 会議室	○産業医からの情報提供 ○第2回職場巡視報告 ○各職場の衛生課題について ○保健師による健康相談について ○交通安全講習（自転車講習会）の報告 ○労働災害発生件数について ○1年の振り返り

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(14)	ストレスチェックの実施		市		

結果の概要

- 社会福祉法人調布市社会福祉協議会ストレスチェック制度実施要綱に基づき、ストレスについての気づきの促し及び職場環境の改善のために、ストレスチェックを実施した。
- 令和6年4月1日在籍者で週20時間以上勤務する職員169人に対し、WEB上で回答できる検査を実施した。
- 結果の分析、集計及び報告については、ストレスチェック業務を取り扱う専門業者に外部委託した。
- 個人結果について回答者個別に報告書を配付するとともに、法人全体及び部署別（課ごと）の集団分析を行った。

○ストレスチェックの結果について、衛生委員会で法人全体結果を共有するとともに、「心理的な負担の程度を把握するための検査結果等報告書」を労働基準監督署に提出した。

実績等

- 対象者数 169 人に対し調査票を配付した結果、114 人から回答があった。
- 初めて WEB 受検を導入したが、回答率は前年比－9.7%だった。
- 高ストレス判定が出た職員に対して実施事務従事者から産業医または保健師による面接指導を案内したが、職員からの申し出はなかった。

番号	事業名	財源			
(15)	セクシュアル・ハラスメント苦情処理委員会	自主	補助	委託	事業

結果の概要

- 令和 6 年度に対象案件等がなく、開催はなかった。

番号	事業名	財源			
(16)	個人情報保護・情報公開審査会	自主	補助	委託	事業

結果の概要

- 令和 6 年度に対象案件等がなく、開催はなかった。

番号	事業名	財源			
(17)	税理士による経理の月例チェック	自主	補助	委託	事業
			市		

結果の概要

- 月 1 回実施した。
- 税理士の指摘事項については、会計職員で共有し改善に努めた。

番号	事業名	財源			
(18)	社会保険労務士の指導	自主	補助	委託	事業
			市		

結果の概要

- 必要に応じて、指導を受けた。

番号	事業名	財源			
		自主 基	補助	委託	事業

結果の概要

- 事務局長、再雇用職員、育児休業中の職員を除く正規職員を対象に実施した。
- 考課者に対して現任研修を実施し、考課者間の意識の統一を図り、制度の充実に向けての意見交換を行った。
- 期初に各自が「考課面談シート」を作成し、1次考課者との期初面談を経て当年度の目標を設定した。
- 1月に、各自が考課面談シートの自己評価を記入し、1次考課者との期末面談を経て、1次・2次考課、最終考課者会議により評価を行った。
- 評価結果について課長職（管理職は事務局長）から結果のフィードバックを行った。
- 嘱託職員に対しては、自己申告制度に基づく「目標成果シート」「業務レベルチェック」の提出及び期初・期末の面談を実施し、計画的な業務の遂行や明確な目的意識の醸成を図った。

番号	事業名	財源			
		自主 基	補助 市	委託 市 東社	事業 ○

※財源は実施事業により異なる

結果の概要

<新任研修の実施>

- 社会福祉協議会職員としての基礎知識及び基本姿勢の習得を目的に、経験職を講師として、社会福祉協議会の理念や事業内容、職員の倫理、マナー等を行い、組織概要の理解と働くうえでの心がまえや地域資源の理解をすすめた。

<全体研修の実施>

- 第6次地域福祉活動計画を策定し、推進を図っていくにあたり、社協の成り立ちや、歴史、役割、活動計画を進める意味等の理解を深めることを目的とした正規職員研修を3回にわたって実施した。動画を活用し、育児休業中の職員を除いた全正規職員が受講した。
- 普通救命講習を最終受講日から期間が経過している職員を主な対象として実施した。定期的な受講を望む意見が多いため、今後の方法を検討していく。
- 総合福祉センター勤務の職員を対象に防犯研修を実施した。研修実施後、参加職員からの伝達で各係において事前の対策や心構えについて意見交換を行うことができた。
- 自転車交通安全講習会は衛生委員会が企画し、実施をした。

<外部研修への参加>

- ポスト、勤務年数に応じた役割自覚と職務能力向上を目的に、全社協、東社協が行う階層別研修等に参加した。
- 担当事業の専門性を高めるため必要に応じて外部研修に年間を通じて参加した。

実績等

<新任研修>

対 象	月 日	内 容	参加人数
4月採用 正規職員	4月1日 4月2日	労務、服務、勤怠、パソコンの使用、組織理念、調布社協の歴史、働く姿勢、予算・会計、文書事務、事業概要、施設見学	2人
4月採用 嘱託職員	4月1日	労務、服務、勤怠、パソコンの使用	3人
8月採用 正規職員	8月1日 8月2日	労務、服務、勤怠、パソコンの使用、組織理念、調布社協の歴史、働く姿勢、予算・会計、文書事務、事業概要	1人
12月採用 嘱託職員	12月2日	労務、服務、勤怠、パソコンの使用	1人

<全体研修>

研修名	月 日	講 師	内 容	参加人数
社会福祉協議会の歴史	4月25日	ルーテル学院大学名誉教授 和田敏明氏	第6次地域福祉活動計画を策定し推進を図っていくにあたり、社協の成り立ちや、歴史、役割、活動計画を進める意味等の理解を深める	80人
これからの社協の役割～社会福祉協議会基本要項の改正から～	5月16日	東京都社会福祉協議会地域福祉部部長 森純一氏		81人
地域福祉活動計画の推進	6月20日	東京都立大学人文社会学部 准教授 室田信一氏		81人
令和6年能登半島地震による被害に伴う災害ボランティアセンター運営支援にかかる石川県内灘町への職員派遣報告会	6月13日	報告者 地域福祉推進課障がい者支援係 宮川雄気主事	東社協からの災害支援協力依頼に基づき、第4クール（令和6年2月12日～18日）にける石川県内灘町災害ボランティアセンターでの派遣活動についての報告	会 45名 Zoom 7名 （録画した動画を後日視聴した職員もいる。）
人事考課制度 現任考課者研修	8月6日	株式会社エイデル研究所 田中幹也氏	考課者間の意識の統一を図り、人事考課制度を充実させるためのグループワーク形式の研修	25人
総合福祉センター防犯研修	10月3日 1月9日	調布警察署 生活安全課 防犯係職員	総合福祉センター内に不審者が来館した想定で、さすまたの使用の確認を含む訓練と事前の対策や心構え等に関する講義	40人

普通救命講習 (AED 従事者)	10月11日 1月20日	(公財)東京防災救急協会 調布消防署	普通救命 (AED 従事者) 講習 2 時間	57 人
食事と健康に 関する研修	1月18日	保健師 伊藤恵氏	「PMS・更年期とリフレッシュ」をテーマに、その症状との付き合い方や支援方法、リフレッシュ方法について学ぶ。	24 人
自転車交通安全講習会	3月10日	調布警察署 交通総務係	業務や通勤で自転車を運転する職員に対し、運転する際の注意喚起や今後新たに適用されるルールについて学ぶ。	25 人

＜外部研修への参加＞

研修名	主催	参加者
新人事務局長研修	東京都社会福祉協議会	課長 1 人
区市町村社協職員 新任職員研修	東京都社会福祉協議会	主事 7 人
地域福祉コーディネーター養成研修＜基礎編＞	東京都社会福祉協議会	主事 6 人
都内区市町村社協基礎研修	東京都社会福祉協議会	主任 1 人 主事 3 人
区市町村社協運営管理研修「ちょっと聞きたい 会費・募金どうしてる？」	東京都社会福祉協議会	係長 1 人 主任 1 人
区市町村社協運営管理研修「社協事業に必要なお金のこと、話しませんか？」	東京都社会福祉協議会	係長 1 人
区市町村社協地域福祉所管課長・係長会	東京都社会福祉協議会	課長補佐 1 人
人事管理研修	東京都福祉人材センター	課長補佐 1 人
労働基準法等に関する研修	東京都福祉人材センター	係長 1 人
チームリーダー研修	東京都福祉人材センター	主任 5 人
コーチング研修【配信】	東京都福祉人材センター	係長 1 人 主任 8 人
スタートアップ研修【配信】	東京都福祉人材センター	主事 1 人
新任職員の定着・育成入門研修【配信】	東京都福祉人材センター	係長 1 人
育成面談研修	東京都福祉人材センター	課長補佐 1 人 係長 5 人
アサーティブコミュニケーション研修	東京都福祉人材センター	課長 1 人 係長 1 人 主任 2 人 主事 10 人 嘱託職員 15 人
福祉職場で生かすアンガーマネジメント【配信】	東京都福祉人材センター	係長 1 人 主任 4 人

		主事 4 人 嘱託職員 2 人
福祉職のためのメンタルヘルス【配信】	東京都福祉人材センター	係長 4 人 主任 7 人 主事 17 人 嘱託職員 19 人
苦情解決担当者研修【配信】	東京都福祉人材センター	係長 1 人
リーダーシップ研修	東京都福祉人材センター	係長 1 人
ファシリテーション研修	東京都福祉人材センター	主事 2 人
社会福祉法人会計入門研修【配信】	東京都福祉人材センター	主事 2 人
財務マネジメント初級研修【配信】	東京都福祉人材センター	係長 1 人
OJT・仕事の教え方研修	東京都福祉人材センター	主事 2 人
福祉職員階層別研修（初任者）マナー編 講義編	調布市福祉人材育成センター	主事 7 人
福祉職員階層別研修（中堅）講義編	調布市福祉人材育成センター	主事 2 人
会計実務講座（中級社協コース）	全国社会福祉協議会	主任 1 人
ヤングケアラーに関する関係機関向け研修	調布市子ども生活部 子ども政策課	係長 1 人 主任 2 人 主事 2 人 嘱託職員 2 人
社会福祉事業従事者人権研修【Ⅰ】	東京都福祉局	主任 6 人 主事 2 人 嘱託職員 1 人
社会福祉事業従事者人権研修【Ⅱ】	東京都福祉局	主事 1 人
東京都障害者虐待防止・権利擁護研修	（公財）東京都福祉保健財団	課長 1 人
その他担当事業別研修参加	全社協、東社協ほか 民間も含め各所	

分析・課題

- 令和6年度も福祉人材育成センターと連携し、研修に参加することで職員の意識だけでなく業務の質を高めた。
- 外部研修の動画配信型の研修は、会場への移動時間を考慮せず期間内であれば日時を問わずに視聴できるため、多くの職員から参加希望があった。
内部研修については、スーパーバイザーを交えた研修や採用後1・2年目の職員を対象としたフォローアップ研修、階層別研修の実施は令和7年度への課題としたい。
- より良いサービス、支援の提供ができるように職員個々の資質の向上、組織力の強化及び必要な資格の取得ができるように、日常業務との兼ね合いを図りながら、今後も限られた研修費のなかで、効率的な研修の実施及び参加を進めたい。
- 各事業において受講が必須の研修についての把握や、今後の事業運営を見据えた研修受講者の選任方法を早急に検討する必要がある。
- 研修終了後の内容の共有の方法や学んだことを活かせるような仕組みを考えたい。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(21)	職員健康相談		市		

結果の概要

- 定期的、継続的な相談や体操により職員の心身の健康状態の変化に気づく機会となった。
- 健康相談実施日に開催している健康体操については、衛生委員会にて令和4年度に実施した健康体操についてのアンケート結果をもとに、テーマを設定し実施した。テーマに興味のある職員が多数参加している。令和6年度からは自席や各拠点の職員も参加できるよう、Zoomを活用したリアルタイム配信を実施している。

分析・課題

- メンタル疾患者の増加、ストレスチェックの義務化に伴い、社協組織においてメンタルヘルス対策は大きな課題となっている。そのため、産業医や健康相談員の存在も大きく、職員が安心して相談できる体制を維持・強化する必要がある。
- 健康体操を実施する中で、デスクワークが多い職員は肩こりや腰痛、目の疲れ等を自覚していることが多いことがわかった。上記のアンケート結果からもそれらの不調を改善する体操を希望する声が多いため、希望が多いテーマを多く取り上げるようにした。

2 部会・委員会

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	総務部会	基			

結果の概要

- 令和6年度は、年3回開催した。
- ちょビット協力金を中心に、その他の募金活動や寄附金、募金箱、収益事業等、自主財源の確保について議論を重ねた。
- ちょビット協力金について、7月の強化月間ではSNSにてXを活用し、随時情報を発信した。また、福祉まつりでちょビット協力金の案内文にQRコードを示したポケットティッシュを配布した。ホームページの閲覧数も増加した。令和7年度に向けて紙芝居などのアイディアが挙がるなどその他の広報の方法等を検討した。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	4月22日 団体室	○今期の総務部会について ○令和5年度自主財源報告 ○令和5年度ちょビット協力金実績報告 ○令和6年度社会福祉協議会ちょビット協力金募集について - チラシ、その他周知方法
第2回	9月17日 団体室	○自主財源の現況報告 ○令和6年度ちょビット協力金の現況報告 ○今後のちょビット協力金の取組について

第3回	1月30日 団体室	○自主財源の現況報告 ○令和6年度ちょビット協力金の現況報告 ○令和7年度に向けたちょビット協力金の周知について
-----	--------------	--

分析・課題

○自治会の会員数の減少や解散などみられた。募金等の実績は令和5年度よりやや上向きの状況ではあるが、地域福祉活動の推進や制度の狭間の地域生活課題に対応していくためにも、今後更に自主財源の確保を進めていく必要がある。また、募金等の使いみちについて丁寧でわかりやすい情報発信に努めるとともに、新たな資金調達の方法についても検討していく。

番号	事業名	財源			
(2)	広報部会	自主 基	補助	委託	事業

結果の概要

○令和6年度は、年6回開催した。
 ○市民モニターや各委員の意見を踏まえ、デザインや写真の掲載などふくしの窓がわかりやすい紙面となるよう工夫した。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	5月30日 団体室	○ふくしの窓5月10日号振り返り ○ふくしの窓7月号2校確認 ○その他広報活動について
第2回	7月29日 団体室	○ふくしの窓7月10日号振り返り ○ふくしの窓9月号2校確認 ○その他広報活動について
第3回	9月27日 団体室	○ふくしの窓9月10日号振り返り ○ふくしの窓11月号2校確認 ○その他広報活動について
第4回	11月28日 団体室	○ふくしの窓11月10日号振り返り ○ふくしの窓1月号2校確認 ○その他広報活動について
第5回	1月28日 201会議室	○ふくしの窓1月10日号振り返り ○ふくしの窓3月号2校確認 ○その他広報活動について
第6回	3月27日 団体室	○ふくしの窓3月10日号振り返り ○ふくしの窓5月号2校確認 ○その他広報活動について

分析・課題

○ふくしの窓については、今後もカラー構成や写真の効果的な見せ方など、市民の方が手に取った際に、見やすくわかりやすい紙面になるようさらに工夫していく必要がある。

○社協や事業をPRしていくため、YouTubeの他にXを活用した。福祉まつりの開催広報などタイムリーに情報発信を行った。今後も、様々な媒体を利用した情報発信の方法など検討していく。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)	調布市希望の家及び希望の家深大寺運営委員会			市	

結果の概要

○年3回の実施計画とおり、5月と10月と2月の3回実施した。
 ○各委員より様々な視点で意見をいただき、運営に反映することができた。
 第3部のP8、P17参照

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(4)	市民活動支援センター運営委員会			市	

結果の概要

○事業計画に基づき、計11回の運営委員会を開催した。
 ○市民主体の開かれた運営を基本とし、さらなる充実を目指した。
 第2部のP2参照

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(5)	調布市こころの健康支援センター運営委員会			市	

結果の概要

○令和6年度は年3回実施した。
 ○市民主体の開かれた運営を基本とし、さらなる充実を目指した。
 第4部のP34参照

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(6)	共同募金調布地区配分推薦委員会	他			

結果の概要

○地域における共同募金の配分について、地域の福祉ニーズを反映させることを目的として、東京都共同募金会（以下「都共募」という。）の配分委員会に対する意見具申を行った。令和6年度は19団体の推薦を行い、合わせて申請受付、推薦基準、評価基準についても話し合った。

実績等

回	開催日	会場	内 容
第1回	6月7日	203 会議室	○令和5年度地域配分（B配分）申請・配分団体に

			ついて ○令和6年度地域配分（B配分）募集要領及び申請書類について ○令和6年度配分可能総額について ○令和6年度地域配分（B配分）確認事項について ○令和6年度地域配分（B配分）広報活動について ○令和6年度配分推薦委員会の予定
第2回	11月7日	団体室	○審査方法説明 ○申請内容確認 ○今後の配分推薦委員会の予定
第3回	1月15日	団体室	○地域配分申請事業審査 ○令和7年度末たすけあい配分計画について ○令和7年度配分推薦確認事項について

分析・課題

- 受配団体に街頭募金の実施協力や募金箱の設置など共同募金運動に協力してもらえるよう、引き続き働きかけを行っていく。
- 募金額の減少に伴う助成決定額の減額方法については、委員会で一定のルールについて協議し決定した。
- 配分推薦委員会では、推薦団体の事業実施の必要性等について、活発な意見交換がされた。
- 令和6年度事業実施において、行先・日程の変更希望のあった受配団体については、都共募に確認をとりながら、変更届の提出を依頼した。令和7年度も当初予定した申請事業が物価高騰や想定外の事情により、申請事業の変更が見込まれるため変更の確認、申請団体に事業が滞りなく実施されるよう周知する必要がある。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(7)	あんしん未来支援事業審査会		市		

結果の概要

- 事業を適正、かつ円滑に実施するため、利用契約に係る承認審査のほか、事業の実施状況に関する報告、事業運営に係る意見具申を行った。

第1部のP142参照

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(8)	調布市福祉人材育成センター運営委員会			市	

結果の概要

- 令和6年度は、年3回開催した。
- 集合形式の会議を実施しながら、事業の適切な運営、実施について協議した。

第4部のP45参照

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(9)	子ども・若者総合支援事業運営委員会			市	

結果の概要

○運営委員会（学識経験者、教育・福祉関係者等）を3回開催した。事業の進捗状況を報告し、委員の方より意見及び助言をいただいた。

第1部のP129参照

3 財政基盤

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	会費の拡大	会			

結果の概要

○自治会、民生児童委員、個人、団体等のご協力により、5,896,161円の会費及び協力金をいただき、ひだまりサロン事業等の事業に活用した。

○「ちょビット協力金」という愛称でホームページ、チラシ、ポスター、ポケットティッシュ、X等で周知を行い、市民に定着してきている。

○例年どおりふくしの窓7月号に特集記事を掲載し払込取扱票を添付した結果、令和5年度に比べ件数は21件増加したが金額は下回った。

○オンライン決済フォームから44件、150,733円の納入があった。令和5年度に比べて件数は1件増加し、金額は21,913円増加した。

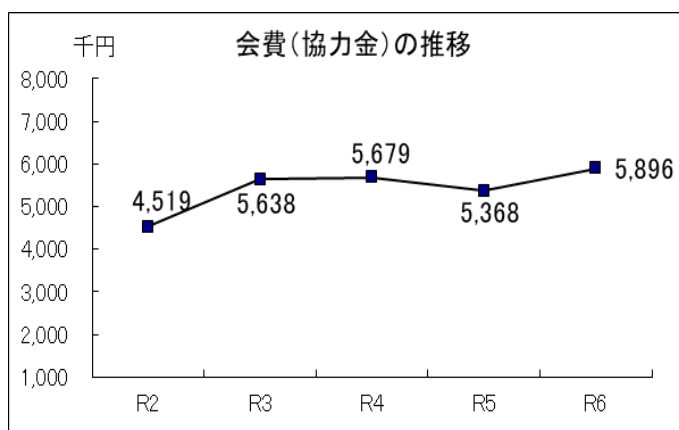
○会員募集運動に協力いただいた自治会が取りまとめた会費実績の9%を、申請に基づき地域福祉活動費として交付した。

No.	事業名	No.	事業名
1	会員管理	4	小地域交流事業
2	地域福祉活動計画	5	ボランティア活動推進
3	ひだまりサロン		

実績等

会員種別	会員数 (人・団体)	会費額(円)
賛助会員（個人）	2,898	3,781,118
賛助会員（団体）	221	1,718,951
協力会員（個人）	1,472	352,492
協力会員（団体）	52	43,600
会費合計	4,643	5,896,161

取り扱い別	件数 (件)	会費額 (円)
自治会・婦人会扱	157	4,189,353
民生児童委員扱	56	108,000
法人・団体	73	614,350
老人クラブ	8	9,500
個人	230	716,553
社協役職員扱	108	258,405
合計	632	5,896,161



年度	会費（協力金）総額
令和2年度	4,518,595 円
令和3年度	5,638,483 円
令和4年度	5,678,953 円
令和5年度	5,367,695 円
令和6年度	5,896,161 円

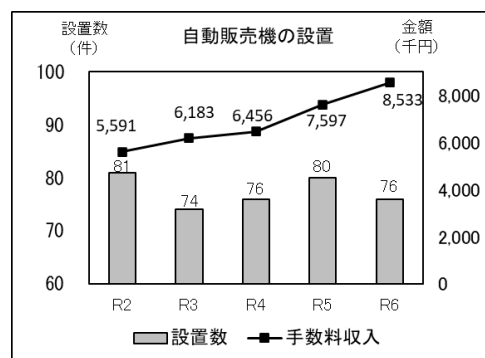
分析・課題

- 自治会の解散や自治会加入者の減少はみられたが、令和5年度と比べると総合計の件数は141件増加し、募金額も増額した。全体でみると自治会、法人・団体、個人等からの協力が大幅に増加した。
- 自治会には、令和5年度にご協力いただけていない自治会にご案内を行い、法人・団体へは、年2回ご案内を行った。過去にご協力いただいている法人に向けてご案内した。また、個人ではFM調布やふくしの窓、チラシ、ポスター、ポケットティッシュ配布、SNSのXを活用して周知を行った。また、新たに市内のスポーツ施設でもチラシ・ポスター掲示の依頼を行い、多くの市民の方がみていただけるよう広報を行った。
- オンライン受付（シンカブル）では、新規で個人の方や自治会からも入金があった。曜日や時間帯を選ばず、インターネット上で完結する手軽さがあるため、今後もSNS、ホームページ、各種広報誌等に2次元コードを掲載するなど、更なる周知を図っていく。
- ふくしの窓7月号に貼付した払込用紙による協力が年間を通じてあった。主に個人や法人・団体の方からの協力に使用されているため、今後も一人でも多くの方に協力いただけるよう、わかりやすい紙面とともに協力を呼び掛けていく必要がある。
- ちょビット協力金の愛称は浸透してきているが、更に理解を深め、協力者を増やしていくため、ちらし、ポスター等わかりやすく事業を紹介するなど、広報の工夫が必要である。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(2)	収益事業	収			

結果の概要

- 地域福祉推進の財源を確保するため、市内の公共施設等に自動販売機を設置、運営した。
- 新規設置および猛暑酷暑や物価高騰の影響による販売価格の上昇などもあり、実績は伸びている。
- 設置場所の精査・開拓を実施し、売り上げが見込めない6台を撤去、売り上げの見込みがある2台の設置を行う。
- 機関紙「ふくしの窓」9月号に掲載し、自動販売機設置場所の紹介と災害ベンダーについて周知した。
- 総合福祉センター内の自動販売機については、ボランティア団体の協力を得て、販売商品を説明する点字をつけ、視覚障がい者の方も購入しやすいようにしている。



実績等

自動販売機設置場所	台数	自動販売機設置場所	台数
調布市役所	3台	西調布体育館	1台
調布市グリーンホール	3台	西町公園	1台
関東村跡地	7台	調布市こころの健康支援センター	2台
緑ヶ丘テニスコート	1台	つつじヶ丘児童館	1台
深大寺テニスコート	1台	西部地域福祉センター	1台
多摩川テニスコート	2台	入間地域福祉センター	1台
西町少年野球場	1台	調布ヶ丘地域福祉センター	1台
調布市西部公民館	1台	深大寺地域福祉センター	1台
調布市北部公民館	1台	染地地域福祉センター	2台
調布市教育会館	1台	菊野台地域福祉センター	1台
調布駅北口入口横	3台	布多公園	1台
大町スポーツ施設	1台	下石原地域福祉センター	1台
飛田給駅北自転車駐車場	1台	金子地域福祉センター	1台
調布中前児童遊園	2台	多摩川五丁目児童遊園	1台
調布市総合福祉センター	7台	下布田公園	1台
八雲台ふれあいの家	2台	調布市調布西第3自転車駐車場	2台
調布市文化会館たづくり	2台	東京都パラスポーツトレーニングセンター	2台
調布市議会事務局	1台	多摩川市民広場	3台
多摩川緑地公園	3台	下石原市営住宅	1台
調布市シルバー人材センター	1台	小島町倉庫	1台
国領駅前コスコエア駐車場	5台	合 計	76台
調布福祉作業所	1台		

分析・課題

- 販売数を多く見込める設置場所を開拓し、自主財源の確保に努めていきたい。
- 災害ベンダーの設置の促進等により、地域貢献につながる取組を推進する。
- 状況、ニーズに応じて、設置する機器を検討しながら増設を目指す。
- 自販機の設置、自販機による清涼飲料水を購入いただくため、引き続き周知をしていく。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)	広告料収入				○

結果の概要

- 「ふくしの窓」への広告掲載として、1回の発行につき最大9コマ・年間6回の広告掲載スペースを確保し、市内企業等に1コマ20,000円の広告を掲載していただいた。

実績等

- 企業・団体から計47コマに広告掲載の申込をいただき、940,000円の収入があった。

分析・課題

○令和5年度同様に安定した収入の確保ができた。また、新規広告企業の掲載もあった。引き続き市内企業や地域の商店街等に社協PRもこめて、地域貢献の一環として広告掲載について積極的に依頼していく。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(4)	研修生受け入れ収入	他			

結果の概要

○将来、福祉職や看護職、教職を目指す人材の支援・育成を目的に受入れを行っている。

実績等

	学校・企業数	収入
大学・短大・専門学校	11校	656,000円

※学校・人数については、研修生受入収入が発生するもののみカウントしている。

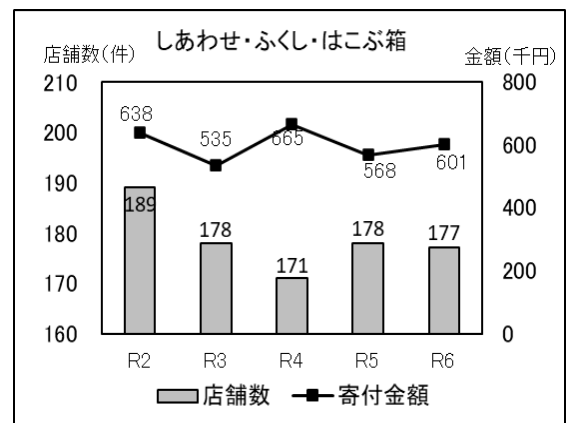
番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(5)	募金箱の設置	寄			

結果の概要

○令和5年度に比べ、寄付金額は33,126円増額となった。

実績等

福祉募金箱設置協力店数	177店
寄付金額	601,411円

分析・課題

○より多くの協力を得られるよう、ポスター掲示等により募金がどのように活用されているかを明確にし、またシンカブル対応のQRコードを募金箱に貼るなどの工夫が必要である。

○社協の宣伝も踏まえ、募金箱設置店にふくしの窓や社協のしおり等の広報物、会員募集のリーフレットの配架を依頼する等、積極的な普及活動を行っていく。

○地域福祉コーディネーター、地域支え合い推進員をはじめ、募金箱設置店のある地域を活動領域とする他の事業担当者と連携し定期的に設置店を訪問することにより、より深い地域とのつながりづくりを図る。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(6)	寄付金収入	寄			

※決算額は福祉募金箱を含む寄付金収入の額

結果の概要

○市民、市内団体をはじめ多くの方から、福祉への思いを寄付という形でお寄せいただいた。

実績等

＜寄付金額（福祉募金箱、福祉まつり募金箱含）＞

件数	寄付金額
寄付金 310 件	11,383,948 円

分析・課題

○遺贈寄付、香典返しの際の寄付等に関する問い合わせがコンスタントにある。寄付先として選択してもらえるよう積極的に周知を図りたい。

○自治会の解散に伴う寄付が増えている。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(7)	障害者総合支援法に基づく自立支援給付費収入				○

結果の概要

○障害者総合支援法の指定事業所として、指定相談支援事業、同行援護事業及び生活介護事業を行った。

実績等

事業名	令和6年度収入
指定相談支援事業（ドルチェ）	4,180,322 円
指定相談支援事業（こころの健康支援センター）	17,656,779 円
同行援護事業	15,985,168 円
生活介護事業所（希望の家深大寺）	75,159,541 円
合 計	112,981,810 円

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(8)	赤い羽根共同募金会からの収入				
(9)	歳末たすけあい運動からの収入	共歳			

結果の概要

○社会福祉法人調布市社会福祉協議会として東京都共同募金会へ地域配分（B 配分）を申請し、1,450,000 円の配分を受けた。また、令和5年度に歳末たすけあい運動で寄せられた募金（4,362,982 円）を地域福祉活動費として、東京都共同募金会から収受し、相談・情報提供事業や高齢者会食サービスなどに活用した。

番号	事業名	財源			
(10)	補助金収入	自主	補助	委託	事業
(11)	受託金収入		○	○	

結果の概要

○調布市からの補助金並びに東京都社会福祉協議会及び調布市からの委託金を次の事業実施のため収入した。

① 調布市補助金

No.	事業名	No.	事業名
1	法人運営費	12	手話通訳者派遣（幹旋通訳）
2	ひだまりサロン	13	中途失聴・難聴者のための手話講習会
3	高齢者会食サービス	14	ファシリテーター養成講座
4	高齢者訪問理美容サービス	15	福祉団体助成金
5	電話訪問	16	ボランティア活動推進
6	友愛訪問	17	希望の家深大寺
7	福祉機器貸出	18	調布市障害者日中活動系サービス推進事業
8	健康支援金の支給	19	調布市日中一時支援事業
9	あんしん未来支援事業	20	福祉人材育成事業
10	福祉サービス利用援助	21	調布市障害福祉サービス事業所物価高騰対策支援事業
11	手話講習会		

②調布市受託金

No.	事業名	No.	事業名
1	通所介護及び介護予防通所介護	14	市民活動支援センター
2	ふれあい給食	15	調布市こころの健康支援センター
3	老人クラブ育成	16	障害者就労支援事業
4	障害者相談支援	17	子ども・若者総合支援事業
5	障害者地域活動支援センター	18	生活困窮者自立支援事業
6	在宅障害者（児）緊急一時保護	19	生活困窮者家計改善支援事業
7	地域福祉活動支援事業	20	福祉人材育成センター
8	高次脳機能障害相談支援事業	21	生活支援コーディネーター
9	受験生チャレンジ貸付	22	発達障害者支援
10	放課後等デイサービス事業	23	地域福祉コーディネーター
11	障害者等雇用	24	医療的ケア児等支援技術向上研修事業
12	調布市総合福祉センター運営	25	地域づくり事業
13	調布市希望の家		

③東京都補助金

No.	事業名
1	東京都物価高騰緊急対策支援金

④東京都社会福祉協議会受託金

No.	事業名
1	生活福祉資金貸付（特例貸付含む）
2	地域福祉権利擁護事業
3	ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付

実績等

○令和6年度の補助金及び受託金は、以下のとおりである。

区 分	金 額
調布市補助金	356,631,724 円
調布市受託金	815,209,964 円
東京都補助金	236,160 円
東京都社会福祉協議会受託金	27,656,190 円
合 計	1,199,734,038 円

4 啓発・普及・宣伝事業

(1) 啓発事業

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)①	調布市福祉大会	会寄基			

結果の概要

- 第36回調布市福祉大会を開催し、永年にわたって地域福祉活動やボランティア活動に参加・協力いただいた市民、団体並びに福祉事業に対する高額寄付者を顕彰した。
- 特定非営利活動法人きもの笑福の方に活動写真を交えながら分かりやすい説明で活動発表をしていただいた。
- アトラクションでは、落語家の立川晴の輔さんに依頼し、市民からも観覧希望の事前の問い合わせが数多く寄せられた。当日も観客から笑い声が絶えない楽しいひと時となった。
- 受賞者及び参加者への記念品としてハンカチを配布した。

実績等

開催日時	令和6年10月1日
会 場	調布市グリーンホール 大ホール
参 加 者	248 人
内 容	<式典> 表彰・感謝状対象者：社協 185 人 共同募金 29（人・団体） 活動発表：特定非営利活動法人きもの笑福 アトラクション：立川晴の輔

分析・課題

- 社協は、数多くの団体、個人の方から協力を得ており、日頃の感謝を直接伝える良い機会となってい

る。令和6年度も大会をスムーズに進行することができ、現在の方法を継続していく。
○令和5年度より多い来場者数であり、アトラクションの効果も一因であると考えられる。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)②	調布市福祉まつり				○

結果の概要

＜実施期間＞

令和6年12月7日から令和6年12月8日

調布市福祉まつり実行委員会が運営

福祉まつりの実施に向けて、参加団体から実行委員を募り実行委員会を6月に立ち上げた。
実行委員15人と担当職員で実施内容を検討した。

実行委員長 増田 弘子（調布市社会福祉協議会理事）

副実行委員長 青木 誠（特定医療法人青山会青木病院）

実行委員会開催回数 4回（うち1回は令和7年1月に開催の反省会）

※その他、企画毎の担当グループに分かれて随時打合せを実施した。

「あいはこちらから めくもり」をテーマに広報を展開

・令和4年度に引き続き「あいはこちら」と、「めくもり」をテーマとして掲げた。

(1) 事前チラシ・ポスター

自治会や公共施設、駅、商店、児童関係施設（保育園、幼稚園、小学校、
特別支援学校等）への配布

(2) 調布FMへの出演

(3) 市報、ふくしの窓、タウン誌への掲載

(4) 当日用プログラム

ア 会場図等を掲載

イ ステージプログラム、スタンプラリー・ぬりえ景品、会場機材の協賛企業や協力団体等を掲載

サニーくんのぬりえ企画を実施

・事前チラシの裏面がサニーくんのぬりえになっており、むらさきホールのブースに持参した方には、景品をプレゼントした。

スタンプラリーの実施

・体験コーナーをめぐりスタンプを集めた方に景品をプレゼント。景品は、企業等から協賛をいただいた。

ステージイベントの実施

・調布市役所前庭の、平和の塔前にステージを設置した。

・ステージ前には椅子を設置。

・ステージの音響は、近隣住民への配慮を最優先とし、最低限の音量に設定した。会場全体に音が聞こえるように、ちょうふFMにモニターの設置を依頼した。

・司会者については、両日青木副実行委員長が担当した。

調布市交通安全協会の協力

・土曜2人、日曜4人の会員が派遣され協力をいただいた。歩行者、車両の安全確保がスムーズに行え

た。

ゴミステーション設置

- ・会場にゴミ箱を設置せずにゴミステーションを設置した。
- 出店団体からのゴミ（粗大ゴミ除く）も収集したが、大きなトラブル等はなく対応できた。

調布駅前の使用

- ・調布駅を利用する方に対して、当日プログラムや風船の配布を行い市役所前庭へ案内した。

アフラック・たづくり間道路の使用

- ・土曜日は調布市商工会青年部によるアニマルセラピー体験を実施。
- ・日曜日はトヨタモビリティ東京株式会社の協力のもと、福祉車両の展示、乗降体験を実施。

その他

- ・株式会社エクシオテックに協力いただき音声での会場案内を実施。
- ・土日両日で調布市スポーツ協会による「スポーツ体験」を実施。

参加団体一覧

12月7日(土)

- (1) 調布市ちょうふの里高齢者サービスセンター
- (2) NPO 法人ひなげしの会 ポピーの家
- (3) 社会福祉法人 至誠ホーム 至誠学舎立川
- (4) 社会福祉法人 新の会
- (5) 社会福祉法人大泉旭出学園 調布福祉園
- (6) NPO 法人クッキングハウス会 クッキングハウス
- (7) NPO 法人 高次脳機能障がい者活動センター 調布ドリーム家族会
- (8) 特定非営利活動法人高次脳機能障がい者活動センター調布ドリーム
- (9) 社会福祉法人調布を耕す会 しごと場大好き
- (10) 特定医療法人 研精会 東京さつきホスピタル デイケア
- (11) 公益社団法人調布市シルバー人材センター
- (12) リサイクルショップ不思議屋
- (13) 調布市希望の家
- (14) NPO 法人 リフレッシュ工房
- (15) NPO 調布ハンディキャブ
- (16) 虹の会
- (17) 特定非営利活動法人爽々苑
- (18) 特定非営利活動法人ふみ月の会
- (19) 社会福祉法人新樹会 創造農園
- (20) 特定非営利活動法人わかばの会
- (21) 社会福祉法人調布を耕す会 カフェ大好き
- (22) 調布市自治会連合協議会
- (23) NPO 法人にこにこの会 にこにこキッズルーム
- (24) 特定非営利活動法人ファーストステップ
- (25) ぴいす
- (26) 障害者生活訓練事業所 Porta（ポルタ）
- (27) 特定非営利活動法人 羽ばたく会 めじろ作業所
- (28) 調布市社会福祉事業団 知的障害者援護施設すまいる
- (29) NPO 法人ポコポコ・ホッピング

- (30) 旭出調布福祉作業所
- (31) 一般社団法人 めくもり society
- (32) 調布市こころの健康支援センター
- (33) さるすべり
- (34) スポーツ推進委員
- (35) ドルチェ
- (36) 市民活動支援センター
- (37) 東京司法書士会 調布支部
- (38) 一般社団法人 多摩南部成年後見センター
- (39) ソウギ SOS
- (40) 調布ゆうあい福祉公社
- (41) 介護施設 カノン調布
- (42) 東京都社会保険労務士会武蔵野統括支部
- (43) 介護老人保健施設 フロリール調布
- (44) 社会福祉法人桐仁会 ちょうふ花園
- (45) 東京都行政書士会調布支部
- (46) 調布市スポーツ協会
- (47) 調布市商工会青年部

12月8日(日)

- (1) 調布市民生児童委員協議会
- (2) クローバー
- (3) 調布・狛江地区更生保護女性会
- (4) フラワーセラピー花想 (はなおもい)
- (5) 早稲田大学校友会調布稲門会
- (6) ガールスカウト東京都第178団
- (7) 国際ソロプチミスト東京-調布
- (8) 調布市赤十字奉仕団
- (9) 調布市社会福祉協議会(ひだまりサロン)
- (10) 調布・狛江桜友会
- (11) 東京調布ライオンズクラブ
- (12) 調布三田会
- (13) 中央大学学生会調布支部
- (14) 明治大学校友会調布狛江地域支部
- (15) 東京調布ロータリークラブ
- (16) 調布リトルリーグ野球協会
- (17) 調布市建設業協同組合
- (18) NPO 法人調布心身障害児・者親の会
- (19) 調布管工土木事業協同組合
- (20) 東海大学同窓会 三多摩支部会
- (21) さるすべり
- (22) 菊野台点字サークル
- (23) スポーツ推進委員
- (24) ドルチェ
- (25) 調布市聴覚障害者協会
- (26) 調布シニアクラブ連合会
- (27) 調布市茶道連盟
- (28) 調布市行政相談委員
- (29) ちょうふタバコ対策ネットワーク

- (30) NP0 法人あんしんシニアサポート
- (31) 東京都医療ソーシャルワーカー協会第7ブロック
- (32) 調布市人権擁護委員
- (33) 調布市高齢者支援室高齢福祉担当
- (34) NP0 法人日本ファイナンシャル・プランナーズ協会 東京支部
- (35) 公益社団法人 調布市医師会
- (36) 調布市立図書館
- (37) りんりんの会
- (38) 一般社団法人 放課後等デイサービス アーリーバード、アーリーバード柴崎
- (39) 調布市スポーツ協会
- (40) トヨタモビリティ東京株式会社

7 協賛・協力企業及び団体（敬称略）

アサヒ飲料販売株式会社 / 株式会社伊藤園 調布支店 / 株式会社栄太樓總本舗 / 株式会社エクシオテック プロダクト営業部 / FC 東京 / 株式会社 KDDI チャレンジド / コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 / 株式会社サカイ・ヘルスケア / サントリービバレッジソリューション株式会社 東京支社府中支店 / シダックスオフィスパートナー株式会社 / 東京キリンビバレッジサービス株式会社 府中支店 / 東京都十一市競輪事業組合 / 東京ヤクルト販売株式会社 調布事業所 / トヨタモビリティ東京株式会社 / 日産東京販売ホールディングス株式会社 / リカー&フーズ やまぐち / 他匿名企業、個人協賛（50 音順）

実績等

○来場者および収益金

	来場者（推計）	参加団体	収益金
1 日	4,000 人	47 団体	133,932 円 ※46 回 405,346 円
2 日	6,000 人	40 団体	1,975,982 円 ※46 回 1,868,902 円
合計	10,000 人	延べ 87 団体 ※実数 83 団体	2,109,914 円 ※46 回 2,274,248 円

内容

12 月 7 日（土）

出店

内 容	・手づくり品の販売 ・模擬店 ・バザー
会 場	調布市役所前庭

ステージイベント

内 容	参加団体や地域の団体によるステージイベント
会 場	調布市役所前庭（特設ステージ）
出 演 者	あいあい保育園 調布乳幼児園

	社会福祉法人調布を耕す会
	しごと場大好き カフェ大好き
	調布市立第八中学校 ダンス部
	ちーむぎゃろっぷ
	調布市こころの健康支援センター 合唱部
	東京さつきホスピタル デイケア
	ひめ
	NPO 法人羽ばたく会 めじろ作業所
	青木病院 認知症疾患医療センター
	NPO 法人クッキングハウス会 クッキングハウス
	高次脳機能障がい者活動センター
	調布ドリーム

福祉体験コーナー

内 容	さまざまな福祉にふれる体験コーナー
会 場	総合福祉センター2階・3階・4階
体験内容	盲導犬ふれあい体験
	ボランティア相談
	タッチケア施術体験
	スルーネットピンポン
	ドッチビー体験
	的当て
	ボッチャ体験

相談コーナー

内 容	各種専門家による相談、PR
会 場	グリーンホール小ホール、たづくりむらさきホール
内 容	登記相談全般、遺言・相続・財産管理の相談
	相談ブース、チラシ配布、PR 活動
	葬送・終活相談
	健康チェック(福祉用具展示)、工作(カード作り)
	来場者向け小物作り 介護相談
	年金・労働相談
	施設案内

	相談、PR コーナー、リース作り
	遺言・相続など終活に関する相談

スタンプラリー

内 容	グリーンホール小ホール、総合福祉センター内で福祉体験をしてスタンプを集めた方に、参加賞をプレゼント。
会 場	グリーンホール小ホール、総合福祉センター
台紙配布場所	グリーンホール小ホール
参 加 者	370 人

ぬりえ

内 容	サニーくんイラストのぬりえコーナー ぬりえを提出すると景品をプレゼント
会 場	たづくりむらさきホール
参 加 者	300 人

体験会

内 容	スポーツ体験
会 場	グリーンホール小ホール
協 力	調布市スポーツ協会

アニマルセラピー体験

内 容	アニマルセラピー体験
会 場	たづくり・アフラック間道路
協 力	調布市商工会青年部

12月8日(日)

出店

内 容	・バザー ・模擬店 ・手作り品の販売
会 場	調布市役所前庭

ステージイベント

内 容	参加団体や地域の団体によるステージイベント
会 場	調布市役所前庭（特設ステージ）
出 演 者	調和 SHC 倶楽部 ダブルダッチ教室 ユー&ショウケン

	調和 SHC 倶楽部 キッズホップ教室
	ベイベージャム・ベイベーキャンディ
	相磯菜々
	調布市シニアクラブ連合会
	SHC フラカイラニアークア
	調布市民合唱団
	ガズレレ東京多摩
	SHC 倶楽部 チーム調和 (調和 SHC 倶楽部よさこいサークル)

福祉体験コーナー

内 容	さまざまな福祉にふれる体験コーナー
会 場	総合福祉センター2階・3階・4階
体験内容	点字体験
	デフリンピック展示・スポーツの手話体験
	スルーネットピンポン
	ドッチビー体験
	昔あそび
	ボッチャ体験

相談コーナー

内 容	専門家による相談、PR
会 場	グリーンホール小ホール、たづくりむらさきホール
内容	行政相談 PR
	景品つきタバコクイズ・健康相談
	終活相談 / 認知症簡易テスト・粗品贈呈
	医療ソーシャルワーカーによる医療福祉相談会
	人権擁護委員の活動 PR、啓発物品の配布
	調布市見守りネットワークの PR 及び健康チェック
	マネー相談、マネーゲーム、マネークイズ
	布の絵本・布の遊具、マルチメディアデイズ等を展示、体験
	もしバナカード
	どんぐりトトロ作り

スタンプラリー

内 容	グリーンホール小ホール、総合福祉センター内で福祉体験をしてスタンプを集めた方に、参加賞をプレゼント。
-----	--

会 場	総合福祉センター
台紙配布場所	総合福祉センター
参 加 者	480 人

ぬりえ

内 容	サニーくんイラストのぬりえコーナー ぬりえを提出すると景品をプレゼント
会 場	たづくりむらさきホール
参 加 者	350 人

福祉車両展示・体験会

内 容	福祉車両展示、乗降体験
会 場	アフラック・たづくり間道路
協 力	トヨタモビリティ東京株式会社

体験会

内 容	スポーツ体験
会 場	グリーンホール小ホール
協 力	調布市スポーツ協会

街頭募金

内 容	調布リトルリーグ野球協会の少年達による街頭募金		
会 場	調布市役所前庭・市内京王線全 8 駅		
協力団体	調布リトルリーグ野球協会	寄 付 金	374,495 円

○収益金（収益金、協力金、募金箱の合計）

	収益金
収益金	2,109,914 円
協力金	462,686 円
令和 5 年度繰越金	322,513 円
収入合計	2,895,113 円

○収益金配分（配分先及び金額）及び経費

1 福祉団体	250,000 円
1 調布市身体障害者福祉協会	90,000 円
2 NPO 法人調布心身障害児・者親の会	90,000 円
3 調布市聴覚障害者協会	35,000 円
4 調布市遺族厚生会	35,000 円

2 障がい者等の当事者グループ	35,000 円
1 さるすべり	35,000 円

3 障がい者施設 (心身障がい者(児)通所授産施設、心身障がい者(児)通所訓練施設、作業所、デイサービス他)	114,000 円
1 NPO 法人わかばの会 わかば第一事業所	7,000 円
2 NPO 法人わかばの会 わかば第二事業所	
3 NPO 法人わかばの会 わかば事業所	
4 NPO 法人ひなげしの会 第1 ポピーの家	7,000 円
5 NPO 法人ひなげしの会 第2 ポピーの家	
6 NPO 法人ひなげしの会 第3 ポピーの家	
7 NPO 法人爽々苑 爽々苑	6,000 円
8 NPO 法人爽々苑 爽々苑やわらぎの家	
9 社会福祉法人調布を耕す会 しごと場大好き	6,000 円
10 社会福祉法人調布を耕す会 カフェ大好き	
11 NPO 法人エクセルシア リサイクルショップ不思議屋	5,000 円
12 NPO 法人クッキングハウス会 第1 クッキングハウス (ティールーム)	7,000 円
13 NPO 法人クッキングハウス会 第2 クッキングハウス (レストラン)	
14 NPO 法人クッキングハウス会 第3 クッキングハウス (クッキングスター)	
15 NPO 法人リフレッシュ工房 リフレッシュ工房	5,000 円
16 NPO 法人羽ばたく会 めじろ作業所	5,000 円
17 NPO 法人ふみ月の会 ふみ月チャレンジ染地	6,000 円
18 NPO 法人ふみ月の会 ふみ月チャレンジふみ月の家	
19 NPO 法人ポコポコ・ホッピング ポコポコ・ホッピング神代団地	6,000 円
20 NPO 法人ポコポコ・ホッピング ポコポコ・ホッピング富士見町	
21 NPO 法人にこにこの会 にこにこキッズルーム	5,000 円
22 特定医療法人研精会 東京さつきホスピタルデイケア	5,000 円
23 社会福祉法人新樹会 創造農園	5,000 円
24 社会福祉法人新の会 はあと・ふる・えりあ	5,000 円
25 社会福祉法人大泉旭出学園 旭出調布福祉作業所	6,000 円
26 社会福祉法人大泉旭出学園 調布福祉園	
27 NPO 法人高次脳機能障がい者活動センター調布ドリーム	5,000 円
28 NPO 法人調布心身障害児・者親の会 ぴいす	6,000 円
29 NPO 法人調布心身障害児・者親の会 下石原ぴいす	
30 一般社団法人生活支援ネットアーリーバード アーリーバード	6,000 円
31 一般社団法人生活支援ネットアーリーバード アーリーバード柴崎	
32 NPO 法人ファーストステップ 就労継続支援B型事業所 ファーストステップ	6,000 円
33 NPO 法人ファーストステップ 生活介護事業所ファーストステップ	
34 障害者生活訓練事業所 Porta	5,000 円

4 高齢者施設 デイサービス、介護施設他	16,000 円
1 社会福祉法人桐仁会 ちょうふ花園	5,000 円
2 カノン調布	5,000 円
3 社会福祉法人至誠学舎立川 至誠ホーム調布若葉ケアセンター	6,000 円
4 社会福祉法人至誠学舎立川 至誠ホーム調布柴崎ケアセンター	
5 社会福祉協議会 (小地域交流事業など地域福祉活動事業費として)	30,000 円

6 福祉まつり運営経費	2,085,644 円
1 会場設営業務委託及びテント等賃借料	1,339,250 円
業務委託費	319,230 円
2 広報費	139,716 円
3 賃借料	116,690 円
4 教養娯楽費（風船代等）	37,986 円
雑費	30,680 円
5 諸謝金	58,500 円
6 その他事務経費	43,592 円

合計	2,530,644 円
----	-------------

分析・課題

- 昨年同様、コロナ禍以前と同等規模で飲食やバザー、体験コーナー、相談・PR コーナー、ぬりえコーナーを実施した。
- 参加団体との連絡手段を原則メールとし、回答を Google Form にしたことで、連絡がスムーズになり、郵送にかかる経費も昨年と比較し減少した。令和7年度以降も同様に行っていく。
- 令和6年度の反省を生かし、年間で行うことを事前に想定して準備のスケジュールを前倒して取り組んだ。まつり直前で慌てることなく準備ができたので、令和7年度以降もスケジュールを意識して取り組んでいく。
- 令和6年度、参加団体からごみ処理のことやテント配置場所、福祉団体と奉仕団体の住み分けについて意見があったため、資源ごみを回収、テント配置を抽選で決定、福祉団体を土曜日、奉仕団体を日曜日としたことで、参加団体からは概ね好意的な意見をいただいた。
- 開催時間を令和6年度より短くしたことについて、参加団体からは賛否両方の意見があった。令和7年度は再度検討していく必要がある。
- 広報活動として、昨年同様 X（旧 twitter）を活用した。今後も継続して活用し、フォロワー数を獲得していきながら、ポスターやチラシといった従来の広報も継続し、周知を強化していく。
- これまで参加していただいていた団体から、メンバーの高齢化や販売する物品が集まらないことから参加を見送りたいという申し出があった。協力金というかたちで福祉まつりに参加いただいた団体もあるが、今後どのように関わっていただくか検討が必要。
- バザー品販売テントにて、販売前に来場者とのトラブルが発生した。安全な運営を行えるよう当日の職員出勤数を確保しつつ、対策を講じる必要がある。
- 福祉団体からの売上金を一律1,000円としたことで令和6年度よりも収益金は減少、対してテント設置費用等の運営経費は増加している。今後も配分金のあり方や運営方法について検討し、変更してい

く必要がある。

(2) 普及事業

番号	事業名	財源			
(2)①	会員募集運動	自主	補助	委託	事業
		会歳			

結果の概要

○7月を強化月間とし、年間を通して会員募集を行った。

○小地域交流事業等、地域で取り組まれる活動での周知を行った。

実績等

○年間を通して会員募集を行った。

実施時期	実施団体
6月～8月	自治会 民生児童委員協議会会長会 第1～6地区民生児童委員協議会 市内法人・団体
1月	調布市老人クラブ連合会単位クラブ
2月～3月	市内法人・団体、ひだまりサロン

分析・課題

○会員募集と同時に、社協や地域福祉活動の認知度を高めていく必要がある。広報について検討すると同時に活動の見学に行く等、活動の様子の把握も行っていきたい。

○令和6年度末に武蔵府中法人会に法人として加入をしたことにより、今後は法人会会員にも案内を行っていきたい。

番号	事業名	財源			
(2)②	赤い羽根共同募金運動	自主	補助	委託	事業
		共			

結果の概要

○共同募金運動の推進のために、調布地区協力会に協力して10月1日～3月31日の期間募金活動を行った。

○自治会に向けた募金協力依頼については、自治会説明会は実施せず、資材を準備し協力を依頼した。

○街頭募金については、下記の日程で開催をした。

団体	日程
爽々苑	10月1日～4日
NP0法人リフレッシュ工房	10月1、2日
調布市少年野球連盟	10月5日
調布市少年サッカー連盟	10月12日、27日、11月3日

○FC 東京の協力を得て、11 月 3 日に味の素スタジアムにおいて、13 回目となるチャリティーコラボピンバッジの販売（1,300 個）と募金活動を実施した。味パンダ広場においても、ピンバッジ販売と募金活動を実施し、募金活動では調布市シニアクラブ連合会の協力をいただいた。

○地域で集めた募金を地域で活用する「地域配分（B 配分）」の受配施設・団体にポスター掲示や募金箱の設置を依頼し、募金運動への協力を呼びかけた。

実績等

①募金実績

方法	募金額
個別募金	5,625,382 円
街頭募金	993,942 円
合計	6,619,324 円

②理事会等開催状況

開催日	項目	内容
4 月 15 日	監査	○令和 5 年度事業監査
4 月 24 日	共同募金調布地区協力会第 1 回理事会	○第 22 期会長の選任 ○第 22 期副会長の選任 ○第 22 期常務理事の指名 ○令和 5 年度共同募金調布地区協力会事業報告 ○令和 5 年度共同募金調布地区協力会募金会計収入支出決算 （監査報告） ○令和 6 年度共同募金調布地区協力会赤い羽根共同募金実施要項 ○令和 6 年度共同募金調布地区協力会事業計画 ○令和 6 年度共同募金調布地区協力会募金会計収入支出予算
8 月 7 日	共同募金調布地区協力会第 2 回理事会	○令和 6 年度赤い羽根共同募金運動の実施について ○第 36 回調布市福祉大会について
10 月 1 日	第 36 回福祉大会	○共同募金協力者へ表彰等を行った。 《表彰状》7 人 《感謝状》10 団体・6 人
11 月 3 日	FC 東京 × 赤い羽根共同募金協働企画	○限定コラボピンバッジを 1,300 個販売し、完売した。 ○スタジアム内のほか、味パンダ広場でも実施した。 ○募金を頂いた方に青赤の羽根をお渡しした。
10 月 27 日 11 月 3 日 11 月 4 日	第 13 回赤い羽根少年野球大会	○東京都共同募金会のキッズサポーター事業の一環として開催した。 ○多摩地域の野球連盟を代表するチームがトーナメント形式で対戦した。

分析・課題

○令和 5 年度と比較し、解散する自治会や一括納入が増えてきている現状があるが、自治会と街頭募金

の募金額が増額となった。今後自治会加入率も減少している中で、自治会のない地域やマンション等への周知、法人や個人へのさらなる周知を行っていく必要がある。

番号	事業名	財源			
		自主 歳	補助	委託	事業
(2)③	歳末たすけあい運動				

結果の概要

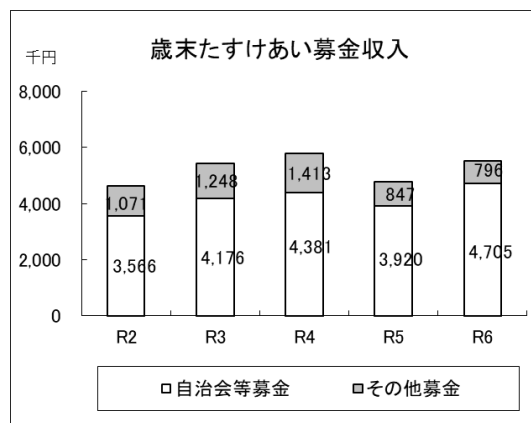
- 地域福祉活動を幅広く展開し充実させるため、自治会や調布市民生児童委員協議会等の協力を得て、「歳末たすけあい運動」を実施した。
- オンライン決済システムにてクレジットカードでお支払いいただき、16件 48,908 円の納入をいただいた。
- 例年どおり、民生児童委員への依頼とともに、市内法人・個人宛にダイレクトメールで募金協力を依頼した。役員の高齢化となり手不足が理由での自治会の解散や、また現金のやり取りが不可能になった集合住宅の管理組合など協力してくださる自治会が減少し、令和5年度に比べ実績は微増したものの今後に不安が残る結果となった。

実績等

- 12月1日～31日が募金運動期間であるが、例年、募金の受付は翌1月末までとしている。
- 集められた募金は翌々年度の地域福祉活動費やチラシ・ポスターの印刷費などの事務費として配分される。

募金実績（収入）

区分	件数	金額（円）
①自治会	193 件	4,617,151
②法人・団体	52 件	520,628
③個人・他	121 件	265,159
④募金箱	9 件	4,116
⑤令和5年2月～令和5年3月受付募金 （令和5年度繰越金）	4 件	94,500
⑥令和6年2月～令和6年3月受付募金 （令和7年度繰越金）	9 件	63,096
合 計	388 件	5,564,650



※令和6年度募金運動の受付締切は令和7年1月31日までとなっており、それ以降に受け付けた募金は令和7年度募金収入（繰越金）として取扱う。そのため、令和6年度募金実績として報告する額は、上記合計額から⑥を除いた額（5,501,554 円）となる。

分析・課題

- 自治会の解散や高齢化による活動の縮小の影響もあり今後の増額は難しい状況である。依頼先の拡大やPRの方法を工夫するなど、地域福祉の向上に向けて模索したい。

(3) 宣伝事業

番号	事業名	財源			
		自主 共基	補助 市	委託	事業 ○

結果の概要

- 社協活動の周知と福祉・地域に関する情報を発信するため、機関紙「ふくしの窓」を6回発行し、市内全戸にポスティング配布した。
- ポスティング作業については、福祉への理解と市内の障がい者・高齢者の雇用創出を目的として、調布市福祉作業所等連絡会及び公益社団法人調布市シルバー人材センターへ引き続き依頼した。
- より見やすくわかりやすい紙面になるよう、市民モニターや広報部会の意見を踏まえ、フォントの統一や、わかりづらい用語の注釈記載、写真やイラストなどの積極的な活用に努めた。
- 1～3面の特集記事については、社協が実施している事業を特集し、多くの市民に事業や活動を知ってもらう機会となった。
- イベントカレンダーでは、社協以外からの団体の情報も申請に基づき掲載した。

実績等

発行部数	1回につき119,600部
形式・内容	タブロイド版、8面構成。カラー印刷
発行日	奇数月の10日
配布方法	市内全戸へのポスティングによる配布、関係機関窓口、希望者への郵送
モニター	モニター11人より意見を聞き、紙面づくりに反映させた。
その他	7月号に協力金の郵便振込用紙をミシン目で切り取れる形で掲載した。

分析・課題

- 令和5年度に引き続き、各面とも写真の掲載を増やし、活動の様子や内容についてわかりやすい紙面になるよう心がけた。また今後も色使いや割付を含め、検討していく。
- 1面から3面については、社協が実施している事業を特集したことで、事業について市民や福祉事業所などから問合せやモニター意見でも内容がわかりやすいなど好評であった。今後もさらに事業や活動を知ってもらえるよう、特集を組んでいきたい。
- いただいたモニター意見の中から質問項目を選択して、モニターへの回答を行った。

番号	事業名	財源			
		自主 基	補助 市	委託	事業 ○

結果の概要

- 総合福祉センター年間休館日や福祉センター関連等、最新の情報を発信するため、随時更新作業を行った。
- 問い合わせフォームへの連絡に対しては、各事業担当者と内容を確認しながらスピーディーな回答を心がけた。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)③	SNS の活用				

結果の概要

- 令和2年度開設したYouTubeチャンネルを活用し、福祉まつり等の事業や地域で取り組まれる活動、福祉情報等を発信した。
- 令和6年度までの累計で登録動画数58本、視聴回数1,696,374回、チャンネル登録者数8,800人であった。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)④	「社協のしおり」の発行	共基	市		○

結果の概要

- 令和6年度は1,700部発行した。
- 各部署と協力し、最新の情報とわかりやすい内容に努めた。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)⑤	地域マスメディアの活用				

結果の概要

- 調布FMの毎月第3木曜日午後1時30分から45分までの「調布市ほっとインフォメーション」の時間枠の中で、社協情報を紹介した(計12回)。
- 毎月1日発行の調布市民放送局広報紙「調布市民放送局ニュース」にて、事業や施設の紹介、イベントや講座のPRを「調布社協ちょビットインフォメーション」として掲載した(計12回)。
- 「テレビ広報ちょうふ」にて、事業の紹介を行った。

実績等

○調布FM出演状況

4月18日	通所介護サービス係事業紹介 ふれあい給食
5月16日	あんしん未来支援事業 第6次調布市地域福祉活動計画完成披露会のご案内
6月20日	調布市社会福祉協議会「ちょビット協力金」募集 就労支援室ライズ「就労講演会」
7月18日	介護職員初任者研修受講生募集 受験生チャレンジ支援貸付事業
8月15日	いきいき調理運営協議会 調布市シニアクラブ連合会
9月19日	第36回調布市福祉大会 令和6年度赤い羽根共同募金運動

10月17日	地域のつどい ちょうふチャリティーウォーク
11月21日	第47回調布市福祉まつり 令和6年度歳末たすけあい運動
12月19日	放課後デイサービス「ぴっころ」令和7年度利用者募集 調布市子ども・若者総合支援事業ここあの紹介
1月16日	ひだまりサロン ちょうふ地域福祉権利擁護センター事業紹介
2月20日	令和7年度地域福祉活動支援事業募集 令和7年度手話講習会・中途手話講習会 受講生募集
3月20日	令和7年度ボランティア保険の加入について ドルチェサロン紹介

○市民放送局広報紙掲載状況

4月	しあわせ・福祉・はこぶ箱（募金箱）
5月	第6次調布市地域福祉活動計画 完成披露会
6月	アイビー・よつば事業紹介
7月	ちょビット協力金募集
8月	市民活動支援センター紹介
9月	赤い羽根共同募金運動
10月	地域のつどい
11月	調布市福祉まつり
12月	歳末たすけあい運動
1月	地域づくり勉強会
2月	手話講習会
3月	あんしん未来支援事業

○テレビ広報ちょうふ放送状況

11月20日号	第47回調布市福祉まつり開催
---------	----------------

分析・課題

○年間出演テーマを精査し優先順位をつけるなどして、調整していく。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)⑥	ウィンドウ美術館				

結果の概要

- 総合福祉センター北側ウィンドウを提供して、市内の福祉施設の求人情報を掲示した。
- 総合福祉センター南側ウィンドウを提供して、配偶者暴力根絶を訴えるパープルリボンプロジェクトのパネル展示や市内小学生の絵画・書写入選作品、調布市パラアート展受賞作品の展示を行った。
- 調布市地域福祉活動支援事業の展示を行った。

5 関係機関との連携

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	役員等の他機関参画				

結果の概要

○調布市、東京都社会福祉協議会その他関係団体の委員会等へ役員・職員が参加した。

実績等

○各団体からの要請に伴い役職員が出席し、求められる役割を果たした。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(2)	民生児童委員				

結果の概要

○民生児童委員との連携強化のため各種協議会に参加し事業の周知、協力依頼などを行った。

実績等

○民生児童委員全員協議会、民生児童委員会長協議会、地区民生児童委員協議会、民生児童委員各部会へ管理職、担当職員が適宜参加した。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)	自治会				

結果の概要

○会員募集運動や募金運動へのご協力依頼、資材確認を実施し、回答をもとに資材を配達した。

実績等

○令和5年度ご協力いただけなかった自治会へも協力依頼を行い、ご募金の協力をしていただいた。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(4)	調布市自治会連合協議会				

結果の概要

○連合協議会の理事会に参加として職員1人を派遣した。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(5)	北多摩南部ブロック連絡会				

結果の概要

○社協北多摩南部ブロック連絡会の総会や連絡会、研修会等に参加し、近隣5市社協での情報交換、交流を行った。(令和6年度幹事社協は、調布社協)

実績等

会議・研修会等	開催日	内 容
第1回事務局長会	5月13日	① 北多摩南部ブロック社協会長等役職員連絡会総会について ② 情報交換
第2回事務局長会	11月28日	① 北多摩南部ブロック社協会長等役職員連絡会研修会について ② 情報交換
会長等役職員連絡会総会	7月12日	① 令和5年度事業報告、決算、監査報告について ② 令和6年度事業計画(案)、予算(案)について ③ 講演会「再発防止と生きづらさ～社協としてできること～」 講師：(公社)東京社会福祉士会立ち直りを支える地域支援ネットワークづくり事業部 副部長 小林良子氏
会長等役職員連絡会研修会	2月18日	研修テーマ 「福祉現場におけるカスタマーハラスメント対策について」 講師：大妻女子大学 人間関係学部 人間福祉学科 助教 古市孝義氏
第1回職員連絡会	8月13日	① 令和6年度職員交流会について ② 令和6年度職員研修会について ③ 情報交換
第2回職員連絡会	10月2日	① 令和6年度職員交流会について ② 令和6年度職員研修会について ③ 情報交換
職員研修会	2月7日	研修会「災害発生！参集命令？業務は？自分は何をすればいい？？～その時に備えよう～」 講師：災害支援・防災教育コーディネーター 宮崎賢哉氏
職員懇親会	2月7日	北多摩南部ブロック社協職員の交流
第1回ボランティア・市民活動センター担当者会議	5月31日	① 災害時のブロック連携・協定の締結について ② 情報交換

第2回ボランティア・市民活動センター担当者会議	11月1日	① 災害時のブロック連携・協定の進捗について ② 学習会について ③ 情報交換
第3回ボランティア・市民活動センター担当者会議	1月9日	kintone 学習会
第4回ボランティア・市民活動センター担当者会議	2月14日	① kintone 学習会についての振り返り ② 今期の振り返り ③ 来季に向けての確認 ④ 情報交換
第1回地権連絡会	7月5日	① 地域福祉権利擁護事業の実施状況について ② 情報交換
第2回地権連絡会	2月25日	① 地域福祉権利擁護事業の実施状況について ② 令和7年度ケース検討への専門職等の派遣についての意向確認 ③ 情報交換
第1回総務系業務担当者会議	3月11日	総務系業務情報交換等
第1回地域福祉コーディネーター担当者会議	10月29日	地域福祉コーディネーター業務、重層的支援体制整備事業の取組状況等について情報交換
第2回地域福祉コーディネーター担当者会議	3月26日	地域福祉コーディネーター業務、重層的支援体制整備事業の取組状況等について情報交換
第1回生活福祉資金担当者会議	2月19日	相談体制、本則・特例貸付への取組状況、他機関との連携等について情報交換

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(6)	調布市福祉作業所等連絡会				

結果の概要

○調布市内障害福祉団体の情報交換及び共同作業事業を目的とする連絡会の事業に、「希望の家」、「障害者地域活動支援センタードルチェ」、「放課後等デイサービスぴっころ」が参加した。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(7)	地域包括支援センター連絡会				

結果の概要

○毎月第3木曜日に開催される連絡会に参加し、調布市福祉健康部各課や地域包括支援センターとの情

報共有や情報提供を行った。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(8)	権利擁護連絡会				

結果の概要

○5・7・9・12・2月に開催された連絡会に参加し、調布市高齢者支援室や地域包括支援センター、調布市福祉総務課との情報共有や事例等を通して権利擁護についての理解を深めた。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(9)	調布市障害者地域自立支援協議会				

結果の概要

○調布市自立支援協議会のワーキンググループの一つを担い、障がい者福祉の相談及び支援機関・障がい者団体等を中心にネットワークづくりを進めた。

第1部 P103 参照

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(10)	調布地域精神保健ネットワーク連絡会				

結果の概要

○調布地域精神保健ネットワーク連絡会の事務局を担い、医療・保健・福祉が連携し、問題解決の方向性を検討した。

第4部 P31 参照

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(11)	調布市社会福祉法人地域公益活動連絡会（調布社福連）				

結果の概要

○調布市主催のフードドライブに年3回協力した。株式会社パルコ調布店、トリエ京王調布が参加し、企業との連携も深まった。配布では、市内福祉施設や団体数も増え広く配布することができた。

○幹事会は原則オンラインで6回開催した。フードドライブやなんでも相談窓口の現状報告や法人間の連携について意見交換を重ねた。社福連の概要チラシを作成し、ガイドブックについても増刷を行った。

○各法人に課題や研修内容についてアンケートを行った。人材確保について課題とする法人が多数あり、第2回総会では、福祉人材の確保について講師を招いての研修や市内法人から調布市内の取組発表を実施し、人材確保のヒントや今後の連携や取組の参考にした。

実績等

総会 (41 法人)	第1回 7月11日 15 法人出席 会場及びオンラインでのハイブリッド形式で開催した。 ・令和5年度事業報告・決算・監査報告 ・令和6年度事業計画・予算 第2回 2月14日 11 法人出席 会場及びオンラインでのハイブリッド形式で開催した。 ・研修会「福祉人材の確保について」 講師：香西 俊史氏 トラストワース株式会社 情報提供（外国人就労支援）：長岡 裕二氏 株式会社ICエイジア ・調布市内の取組について 1 法人が発表
幹事会 (8 法人)	第1回 5月17日 ※オンライン開催 ・令和5年度事業報告及び決算（案） ・令和6年度事業計画及び予算（案） ・第1回総会について 第2回 9月26日 ※オンライン開催 ・令和6年度第1回総会の報告 ・第1回フードドライブ報告 ・令和6年度の事業計画に基づく検討課題 ・第2回総会・研修内容 ・社福連概要チラシの作成について ・なんでも相談窓口の現状報告と今後の進め方 第3回 11月29日 ※オンライン開催 ・第2回フードドライブについて ・アンケート集計結果について ・令和6年度第2回総会日程、研修内容について 第4回 12月17日 ※オンライン開催 ・令和6年度第2回総会、研修会の確認について 第5回 1月17日 ※オンライン開催 ・令和6年度第2回総会・研修会について ・チラシについて ・アンケート集計結果について ・令和6年度予算執行について 第6回 3月21日 ※オンライン開催 ・令和6年度第2回総会・研修会振り返りにについて ・令和7年度・8年度幹事について
取組	調布市が主催するフードドライブに、株式会社パルコ調布店、トリエ京王調布、調布市消費者団体連合会とともに協力した。 第1回 フードドライブの実施（調布市主催の環境フェアに参加） 6月8日 12 法人参加 551 点の食品を収集し、福祉施設やボランティア団体等 12 団体に配付した。 第2回 フードドライブの実施 10月30日 15 法人が参加 1,300 点の食品を収集し、福祉施設やボランティア団体等 11 団体に配付した。

	第3回 フードドライブの実施 2月20日 9法人が参加 889点の食品を収集し、福祉施設やボランティア団体等10団体に配付した。
--	---

6 計画の推進・策定

番号	事業名	財源			
		自主 会基	補助	委託	事業
(1)	調布市地域福祉活動計画の推進・策定（重点項目）				

結果の概要

○第6次調布市地域福祉活動計画における推進

- ・地域福祉コーディネーター及び地域支援合い推進員による個別支援ニーズの把握、地域内の活動者等との関係構築及び地域づくりのための支援を通して、8つの福祉圏域ごとに、住民一人ひとりが地域生活課題を自分事として捉え、その課題の解決を図るための住民主体の取組づくりを行った。

【全域】

- ・6月1日に第6次調布市地域福祉活動計画（令和6年度～11年度）の完成披露会を開催した。当日の参加者は79人（地域住民・関係機関53人、社協職員26人）。策定に関わった方とともに、完成を分かち合い、市全域・それぞれの地域の思いを共有することで、推進のスタートのきっかけとなった。
- ・第6次調布市地域福祉活動計画P43「こども・家族の未来を考える」の推進を図るために、地域づくり事業勉強会「地域で育てるこどもの未来@調布」を企画、実施した。東京都策定の「こども未来アクション2024」、調布市の支援者と活動者の講話を聞き、子ども・若者や保護者の置かれている現状を共有した上でディスカッションを行った。参加者全員で学ぶ場となったことで、地域でできることは何かを考え、子どもから高齢者まで世代や属性を超えて助け合える地域づくりについて考える機会となった。
- ・第6次調布市地域福祉活動計画P43「多様性（Diversity）と情報（Information）」の推進を図るため、調布女子会のまま及び一般社団法人UX会議と連携し、「ひきこもり女子会 in 調布」を開催した。

【各圏域】

<各圏域での取組>

- ・各福祉圏域の特徴・特性に合わせた地域福祉活動計画の推進に取り組み、地域の取組やイベント等で人々がつながる活動が行われた。例えば、高齢者同士のサロン活動、子ども食堂や多世代向けの食堂、福祉関係者や施設利用者等による地域のお祭りや取組へのボランティア参加、福祉施設や企業のスペースを活用した多様な方々が活躍する場、つながる場、多世代交流の場等、様々な地域活動が行われた。
- ・地域住民からの「外国ルーツのある方が近くに住んでいるが、どのように声をかけたらよいかわからない」といった声を受け、ちょうふ地域福祉フォーラム「やさしい日本語ってなに？」を実施した。外国ルーツのある方との今後の交流について考える機会となった。
- ・ボランティア主催で地域住民と希望の家分場利用者の交流会を開催した。相互理解を深めるため、活動者の手作りおやつをともに食べ、歌やレクなどの交流と希望の家自主製品販売を行った。地域からは子どもから高齢者まで多様な属性の参加者が集まった。
- ・「みんなで集える場所が欲しい」という声が挙がっていた地域で、関係機関や住民とアイデアを出し合い、飲食店のスペースを借りて近隣住民が交流できる活動を実施した。
- ・令和5年度実施の起立性調節障害をテーマにしたちょうふ地域福祉フォーラムを通して、令和6年度

では起立性調節障害に限らず見た目ではわかりづらい病気や困りごとへの理解を身近な地域から深めるため、地域福祉センターで関連する映画の上映会と懇談会を開催し、多世代の参加があった。

- ・上ノ原・柏野小学校地域の小地域交流事業では、圏域の活動計画の内容をもとに、「地域を知る機会をつくり、地域愛を伝える」、「つながるきっかけをつくり、地域活動の仲間を増やす」ことを目的としたまち歩きと懇談会を実施した。まち歩き中にすれ違った地域住民に取組の説明をしたり、当日地域福祉センターを利用していた方が懇談会に参加されたりなど、目的に沿った取組となった。

<法人内の連携>

- ・郷土博物館による下布田遺跡のヤギ除草において、アイビー利用者やここあ利用者の見学を調整した。利用者が施設内だけでなく、地域の活動に参加し、普段のサービス利用では体験しない時間をつく作り、住民やボランティアの交流が生まれる機会を創出した。
- ・こころの健康支援センターボランティア部による小地域交流事業や地域団体主催のお祭りへのテント等の準備・片付けのお手伝い、駐輪場や会場内の誘導を担う調整を行った。地域住民が関わる、または参加するお祭りに担い手として、役割を持って参加する機会を創出した。
- ・住民同士の助け合いの活動であるたまの手の担い手として、こころの健康支援センターボランティア部の希望者が参加し、主に高齢者等の世帯に対して、粗大ごみの運搬の作業をお手伝いする調整を行った。たまの手の担い手を増やしたいというニーズと、こころの健康支援センター利用者の活躍の場を増やしたいというニーズに合わせた機会を創出した。

分析・課題

- 第6次調布市地域福祉活動計画の策定において挙げた地域住民の想いや声を実現するために、6年間の推進期間を通して、地域住民等とともに考え行動に移しながら、定期的にその過程を振り返り、次なる行動につなげ、地域住民等一人ひとりが地域への愛着を持って、よりよい地域づくりを目指す環境をつくっていく必要がある。
- 社会的少数者や匿名性に配慮が必要な社会課題の解決に取り組むため、常に時代の変化に沿った個別課題ニーズの把握に努め、地域住民や関係機関へ共有をしていきたい。
- 社会参加や中間就労の場の構築を目指すため、農福連携や新たな社会資源開発、地域住民や地元企業、関係機関等に、地域づくりに参加する人が増えるための働きかけが必要である。

7 苦情対応

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	苦情対応				

結果の概要

- 苦情解決実施要綱に基づいた苦情の申出は0件であったが、寄せられた苦情・要望は、サービスを改善する機会ととらえ丁寧な対応と即時性ある改善に取り組んだ。
- 継続対応している苦情申出については、危機管理委員会等の場で随時共有を図った。
- いただいた苦情・要望は、第三者委員会へ報告し意見をいただいた。

実績等

○苦情・要望の種類別受付件数

	種類（内容）	合計（件）
1	建物、環境整備の不具合や迷惑	2
2	職員の対応への不満	13
3	職員のケアレスミスの指摘	0
4	利用者サービスへの不満	4
5	その他事業内容への不満	1
6	会費や募金についての疑問や不満	0
7	その他	6
合 計		26

番号	事業名	財源			
		自主 基	補助	委託	事業
(2)	第三者委員会議				

結果の概要

- 法人（希望の家を除く）としての第三者委員会議を2回開催した。
- 法人とは別に、希望の家（調布市希望の家及び希望の家深大寺）の第三者委員会議を2回開催した。
- どちらも、苦情解決実施要綱に基づく苦情は無かったが、事務局で対応した市民からの苦情、意見、事故等を報告し、助言と意見をいただいた。

8 個人情報の保護

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	個人情報の保護				

結果の概要

- 事業利用に伴う契約時や申請時に個人情報取扱業務説明書を基に、利用者へ説明を行った。
- 個人情報を掲載する文書の使用に当たっては、使用目的を制限する取扱注意事項を明記し、個人情報の保護を徹底した。

9 危機管理体制

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	危機管理委員会、危機管理責任者の設置				

結果の概要

- 危機管理に対する職員の意識を向上し、事故の原因分析と防止のための改善策に取り組んだ。
- 事故・ヒヤリ・ハット報告を行い、係ごとに事故防止策に取り組んだ。

○毎月実施される係長職以上の「運営会議」の中で、危機管理委員会を開催し、事故、ヒヤリ・ハット事例の報告を行った。

○事故報告は定期的に、第三者委員会議、三役会、理事会及び評議員会に報告した。

10 災害対策

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	災害対策				

結果の概要

○災害時の安否確認に必要となる職員の緊急連絡網や事業の利用者名簿の更新を行った。

○調布市総合防災訓練に職員が参加したほか、総合福祉センターにおける防災訓練の実施、備蓄品補充等災害への備えの充実を図った。

号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(2)	防災訓練の実施と備蓄品等の充実	会			

結果の概要

○総合福祉センターの防災備蓄品の点検を行い、不足品目の補充を行った。

○3月4日、総合福祉センターにおいて地震及び火災発生を想定し、自衛消防訓練を実施した。

○4月、8月、12月の年間3回、職員及び施設管理委託業者と協働し、総合福祉センターの非常用放送設備の動作確認と館内の危険箇所の確認を行った。

実績等

○総合福祉センターの防災備蓄品を点検し、使用期限を過ぎた飲用水を更新し、飲用使用期限を過ぎた水を生活用水とした。また新たに折りたたみ担架・段ボールベットを補充し備蓄品の充実を図った。

○メーカー推奨使用期間を超えた防災用ヘルメットを46個の更新を行った。

分析・課題

○災害備蓄品について、定期的に在庫の管理を行い、災害支援の実情を参考に必要と思われる物については順次補充していく。

○引き続き、期限を迎える備蓄品、防災用品の更新を順次行っていく。

○消防避難訓練の定期的な実施により、職員の避難経路の確認と防災意識を高め、備蓄品の認識を広める必要がある。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)	災害ボランティアセンターの準備				

第2部のP44参照